（別紙８－２）　認知症対応型共同生活介護事業所外部評価結果公表様式

□はリンク　　※はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名※　グループホーム 敬愛

日付　　平成 21 年 5 月 19 日

評価機関名　有限会社　アウルメディカルサービス

評価調査員：　介護福祉士
ケアマネージャー

会社経営者
実務経験3年以上

自主評価結果を見る　（評価内容と一緒に添付しています。）

評価項目の内容を見る※

事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※

1．評価結果の概要

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）
（記述式）

当ホームは、医療との連携がしっかり取れており、職員の人数も目の行き届く配置である。また、緊急時や夜間の対応もしやすい環境である。「敬愛」と言う施設名が理念となり、敬う心、愛する心を職員も把握しているように感じました。

入所者達の楽しみの一つである食事やおやつには特に力をいれており、メニューは栄養士が献立し、家庭的な作りであった。また、入居者には馴染んだ生活が出来るように湯のみや茶碗、箸、コップ等、入居者各自の持ち物で食事をし、嚥下等の状態に合わせた６段階の調理を行っており魚の骨等も綺麗に取って調理している。そして、食欲のない人には時間を開けての代替えを出すなどの工夫をしている。

それぞれのユニット管理者は、適材適所の人員配置を提案しており、入居者や家族の思い・希望を汲み取り、グループホームでの生活に活かせるよう努力しています。また個別ケアの連絡帳を作り、入居者の情報が職員全体に伝わるように工夫したりして、見守りと尊重と介助のバランスがよく取れていました。

特に改善の余地があると思われる点（記述式）

全員が寛ぐ居間に必要でない備品や飾り付けが多く、整理が出来ていないのが残念でした。もっと家庭的になるにはどうすればよいか、課題を重視すべきだと感じました。

また、それぞれのユニットの雰囲気が違うので、ユニット間の交流が少ないように感じ取れます。せっかく３ユニットあるにもかかわらず、その良さが生かされてない事が残念でした。職員を含めた交流をすることで施設の価値がもっと変わってくると思います。また、近隣には学校や病院等の施設が多いので、地域の行事に随時参加し、地元の人たちとの交流をもっと図ってほしいと思います。

２．評価結果（詳細）

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	認知症の人がその人らしさを忘れず、生活できるよう援助し、人を敬い愛する心を持ち続け地域で困っている人を助け、「敬愛」の名のごとく、入居者を愛し、愛され、そして敬い、敬われるホームであるよう努力している。		

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	家庭での生活を継続し、好きな時間に好きなことをして過ごしてもらうようにしている。好きな時間に就寝、起床出きるようにしているが、朝食のみ全員一緒にする事にしている。また、１人１人の好きな事を職員全員が把握している。		

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者･家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り･情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法･盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援		○
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見･対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		○
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者一人ひとりの力や経験を尊重し、その方が出来る事を発見し、得意な面が出せるように支援しています。例えば、家事が苦手で調理では活躍の場がない方には、得意な習字の腕を生かし、日々の献立を掲示版に書くなど役割を持っていただくよう工夫したり、他者から調理に参加しない事を責められないよう配慮したりしています。		

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		○
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組		○
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	職員には外部研修を受けるように促し、受講者は各職員に勉強会を実施している（伝達講習）。また、職員が分かるよう外部研修リストを作成し、受けたい研修を受けることが出来るようにしている。 問題が発生した時はミーティングをして、原因の解明や対策を話し合い、再発防止に向けて取り組んでいる。また、ヒヤリハット報告を取り入れ、事故を未然に防ぐ努力をしています。		

※　WAMNETに公開する際には、本様式のほか、県が別に定めるところにより自主評価結果を添付すること。